



編集 SEF 事務局
 連絡先 03-3669-0499
 URL <http://sef-jpn.org>

巻頭のことば 「年頭ご挨拶」

理事長 新家彦司

新年あけましておめでとうございます。SEF 会員の皆様には健やかに新年をお迎えのこととお慶びもうしあげます。又、旧年中のご厚誼に対し心よりお礼申しあげます。

昨年前半は 2020 年オリンピックの東京開催決定や経済再生をテコに好発進しましたが、後半は首相の靖国神社参拝による国際社会での孤立感の深まりや、特定秘密保護法の強行採決等の保守色の強い政策が批判を浴びました。日本再生の正念場と言われている今年こそ期待したいものです。

この新しい年 2014 年・平成 26 年が会員の皆様および SEF にとってより良い年となりますよう念じ、新年の挨拶とさせていただきます。

12 月度 (第 127 回) 理事会より (12 月 18 日)

<12 月度理事会 (第 127 回)>

- | | |
|-----------------------------|-------------------------------|
| 1. 平成 26 年度(事業計画策定の件)→審議・継続 | 3. TK社の粉体大粒化技術の教育業務支援→報告・了承 |
| 2. 受託業務収入配分比率について→報告・了承 | 4. 平成 25 年度上期中間会計監査報告の件→報告・了承 |
| | 5. 平成 25 年 11 月度会計報告→報告・了承 |

事業報告 「教育・研修事業部」報告

担当理事 重富紀

昨年 12 月に某社と結晶大粒化についての教育研修業務契約を締結しました。これは某社に海外顧客から結晶大粒化に関する業務依頼があったため SEF が某社に対してこの種の知見・ノウハウを何回かにわたって講義・教授するというものです。日本が化学産業成長期に体験し蓄積した各種貴重な知見やノウハウが今や日本ではその使い先がなくなりつつある中で、その貴重な知見・ノウハウを、日本企業を経由して海外に生かそうとするこのような案件は、当時このようなノウハウの蓄積・深化に深くかかわってきた世代である SEF 会員の本来の使命に合致する案件でもありますので、今後もこのような案件に積極的にかかわり日本の企業のビジネスサポートをするとともに日本の価値ある技術を海外で生かしていく取り組みに参画していきたいと考えています。

SEF サロン 第 80 回 案内

担当理事 白崎善宏

《 第 80 回案内 》

日時：2014 年 1 月 22 日 (水) 18 時 場所：青学会館内・レストラン「フィリア」
 講師：渡辺延志氏 朝日新聞社 演題：「人は歴史に何を求めるのか」
 朝日新聞社の渡辺延志氏をお迎えし「人は歴史に何を求めるのか」と題してご講演いただきます。渡辺氏をご講演の概要について下記の通り述べておられます。

私は歴史を主なテーマにした新聞記者として生きてきました。「新たな発見」「初めて明らかになった事実」などというニュースを追う作業を多かったのですが、しだいに人はなぜこのように歴史をめぐって争うのだろうかとの思いが深まりました。

隣国との間の歴史をめぐる確執は収まる気配がなく、国内においても歴史認識の溝は深まるばかりに見えます。その疑問への明快な答えはまだ見つけられずにいるのですが、悩むたびに思い出すのは、これまで会ってきた忘れえない先生たちの考えであり生き方です。騎馬民族王朝説の江上波夫先生 (考古学)、日本語タミル語起源説の大野晋先生 (国語学)、「日本とは何か」の網野善彦先生 (歴史学)、「中国の衝撃」の溝口雄三先生 (中国思想史)・・・研究に生涯をかけた、今はもう会うことのできない先生たちです。

「知の巨人」とも呼べるだろうそうした先生たちとの出会いを通して私の感じたことから、現在私が取り組んでいる東京裁判の検察側資料の解説作業にいたるまでを話すことができたならと考えています。

邪馬台国等の古代史から三国同盟等の近代史まで、渡辺氏の幅広いご見識に基づく興味深いお話が期待されます。

11 月度会員動向

会員入退会 正会員入退会 変動無し 準会員入退会 変動無し	12 月末現在の会員数 正会員-28 名 準会員-32 名 賛助会員-2 社
--	---